

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-292647

(P2005-292647A)

(43) 公開日 平成17年10月20日(2005.10.20)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G09F 1/10

G09F 3/20

// B65D 63/10

F I

G09F 1/10

G09F 1/10

G09F 3/20

B65D 63/10

テーマコード (参考)

3E085

M

H

G

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2004-110150 (P2004-110150)

(22) 出願日 平成16年4月2日(2004.4.2)

(71) 出願人 000001085

株式会社クラレ

岡山県倉敷市酒津1621番地

(71) 出願人 504134737

株式会社キョクレイ

神奈川県横浜市中区山下町278-2

(74) 代理人 100078732

弁理士 大谷 保

(72) 発明者 竹原 圭司

大阪府大阪市北区梅田1丁目12番39号

株式会社クラレ内

(72) 発明者 平本 昌一

神奈川県横浜市中区山下町278-2 株

式会社キョクレイ内

Fターム(参考) 3E085 BB34 BD08 BE04 BF09

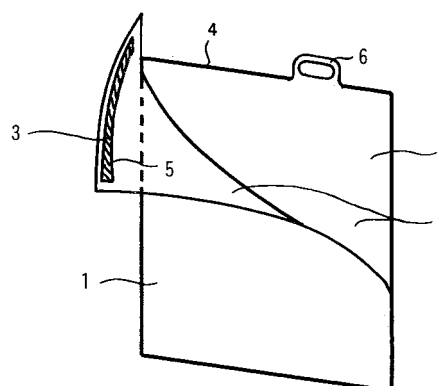
(54) 【発明の名称】 表示具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】独立した表示具であって梱包ベルトへの固・脱着が容易であり、かつ表示票の交換も容易で、情報の変更に対応しやすい梱包ベルト用表示具を提供する。

【解決手段】透明な表面フィルム1および半透明または不透明な裏面フィルム2からなる袋体であり、表面フィルム1の内側上端部に面ファスナー3を付設し、裏面フィルム2の上端4を面ファスナー3の下端5より低い位置とし、かつ裏面フィルム2にその上端4より面ファスナー3と重なる位置まで突出した、少なくとも1つの係留部6を設けてなり、面ファスナー3と梱包ベルトに付設した面ファスナーとを係合することにより梱包ベルトへの固・脱着を可能とした梱包ベルト用表示具とする。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

梱包ベルトに固・脱着するプラスチック製の表示具であって、透明な表面フィルム 1 および半透明または不透明な裏面フィルム 2 からなる袋体であり、表面フィルム 1 の内側上端部に面ファスナー 3 を付設し、裏面フィルム 2 の上端 4 を面ファスナー 3 の下端 5 より低い位置とし、かつ裏面フィルム 2 にその上端 4 より面ファスナー 3 と重なる位置まで突出した、少なくとも 1 つの係留部 6 を設けてなり、面ファスナー 3 と梱包ベルトに付設した面ファスナーとを係合することにより梱包ベルトへの固・脱着を可能としたことを特徴とする梱包ベルト用表示具。

**【請求項 2】**

係留部 6 が、孔あきの突出部である請求項 1 に記載の表示具。

**【請求項 3】**

該袋体の一方側辺の上部 7 において表面フィルム 1 と裏面フィルム 2 とを付着させず、その部分が袋体の上辺と連続して開口可能とした請求項 1 または 2 に記載の表示具。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、各種表示票を収容する表示具に関し、さらに詳しくは梱包用ベルトに固・脱着する表示具に関する。

**【背景技術】****【0002】**

ダンボール箱などの各種の包装容器に収納された荷物の梱包のためには、梱包用ベルトが使用されることが多い。

また、梱包された荷物（梱包体）にはその内容や扱いについての情報を表示することが普通であり、包装容器の外面に情報を印刷したり、表示票を粘着テープなどで固着することが行なわれている。しかし上記の表示手段は、その都度表示票を粘着テープで取り付けなければならず作業性が悪い、表示票、粘着テープとも繰り返し使用できず廃棄しなければならない、冷蔵倉庫の様な湿気を含む環境下では表示票が変形する、等の点で不便であり、情報の変更などへの対応が困難である。

**【0003】**

上記問題を解決するものとして、梱包用ベルトの一部に情報シート（表示票）の出し入れを自由にした表示ポケットを設けた梱包用ベルトが提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。しかし、この梱包用ベルトは、表示ポケットが梱包用ベルトの大きさに制限されること、及び表示ポケットをベルトに一体に設けることから、梱包用ベルトの製造コスト増加と、表示ポケットの位置を荷物に合うように変更できない点で使用に制限がある。

**【0004】**

**【特許文献 1】** 特開 2003 - 54624 号公報

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

本発明は上記の背景技術の問題を解決するもので、独立した表示具であって梱包ベルトに固・脱着が容易であり、かつ表示票の交換も容易で、情報の変更に対応しやすい梱包ベルト用表示具を提供することを目的とする。

**【課題を解決するための手段】****【0006】**

本発明は、上記のような課題を解決するためになされたものである。

而して本発明は、梱包ベルトに固・脱着するプラスチック製の表示具であって、透明な表面フィルム 1 および半透明または不透明な裏面フィルム 2 からなる袋体であり、表面フィルム 1 の内側上端部に面ファスナー 3 を付設し、裏面フィルム 2 の上端 4 を面ファスナ

10

20

30

40

50

ー 3 の下端 5 より低い位置とし、かつ裏面フィルム 2 にその上端 4 より面ファスナー 3 と重なる位置まで突出した、少なくとも 1 つの係留部 6 を設けてなり、面ファスナー 3 と梱包ベルトに付設した面ファスナーとを係合することにより梱包ベルトへの固・脱着を可能としたことを特徴とする梱包ベルト用表示具である。

【発明の効果】

【0007】

本発明の表示具は、梱包ベルトへの固・脱着を容易に行うことができ、また、必要に応じて表示票の交換を容易に行うことができるものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【0008】

以下、図を参照して本発明の表示具を説明する。

図 1 は本発明の表示具の 1 例の、袋体の一方側辺の上部が袋体の上辺と連続して開口された状態を示す斜視図であり、図 2 は、同表示具を展開した平面図である。

【0009】

図において、1 は透明なプラスチックフィルムからなる表面フィルムであり、その内側上端部には、表面フィルム 1 の上辺と平行に面ファスナー 3 が付設されている。

【0010】

表面フィルム 1 は、表示票に記載された情報を認識する必要があり、透明なプラスチックフィルムで形成する。かかる透明なプラスチックフィルムとしては、任意のプラスチックが使用できるが、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリアミドなどのフィルムが好ましい例である。

【0011】

表示具を梱包ベルトに固・脱着するための手段としての面ファスナーとしては、対をなす面ファスナー同士が、互いの表面に形成されたループ状係合素子とフック状係合素子とが引っかかることにより係合する方式のものが使用可能であり、対をなす面ファスナーの一方を面ファスナー 3 として表面フィルム 1 に付設し、梱包ベルトに設けた他方の面ファスナーと係合可能とする。

【0012】

梱包ベルトに付設する面ファスナーとしては、他の繊維などとの係合を避けるために、ループ状係合素子を持つ面ファスナーを使用するのが好ましいことから、それに対応して、本発明の表示具の面ファスナー 3 としては、フック状係合素子を持つ面ファスナーを使用するのが好ましい。

ただし、フック・ループ混在型面ファスナーを、梱包ベルトと本発明の表示具の各々に付設することもできる。

面ファスナー 3 の長さ及び幅は、表示具の大きさや梱包体の状態に応じて適宜選択すれば良いが、長さは表面フィルムの幅の 20 ~ 100 % 程度が好ましく、幅は 5 ~ 100 mm 程度が好ましい。

面ファスナー 3 は接着または融着により、表面フィルム 1 に付設する。

【0013】

表面フィルム 1 に相対して、裏面を構成する裏面フィルム 2 が設けられる。

裏面フィルム 2 は、表面と裏面の区別が困難となり、使用時に不便となることを防止するため、半透明または不透明のプラスチックフィルムで形成する。かかる、プラスチックフィルムの材質としては、例えばポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリアミド等を挙げることができる。

透明と半透明の区別は厳密である必要はなく、目視して背景がかすかに可視できるものを半透明とし、ほぼ可視できないものを不透明とする。また、裏面フィルム 2 を適当な色彩に着色したものとすることもできる。

【0014】

図 1 に示すように、本発明の表示具は表面フィルム 1 と裏面フィルム 2 とを合わせて袋体としたものである。

10

20

30

40

50

図 2 に示すように、裏面フィルム 2 の上端 4 は、袋体の状態で、表面フィルム 1 の上端部に設けられた面ファスナー 3 の下端 5 よりも低くなる位置とする。これは、裏面フィルム 2 の上端部が面ファスナー 3 に重なって、面ファスナー 3 の係合力を低下させることを防ぐためである。

而して、袋体の状態での、裏面フィルム 2 の上端 4 と面ファスナー 3 の下端 5 との距離は、0 ~ 5 mm の範囲が好ましく、特に 1 ~ 3 mm の範囲が好ましい。

【0015】

裏面フィルム 2 には、その上端 4 より面ファスナー 3 と重なる位置まで突出した、少なくとも 1 つの係留部 6 を設ける。

係留部 6 は面ファスナー 3 と重なる位置までにあるため、本発明の表示具を梱包ベルトに固着した時に、面ファスナー 3 の係合によって押さえつけられ、袋体が反転した場合でも、裏面の封止を確実にして、不要な開口により表示票が散逸することを防止する。

【0016】

本発明の表示具である袋体は、表面フィルム 1 と裏面フィルム 2 とが、底辺と両側辺で付着し、上辺のみが開口した形であっても良いが、上辺だけの開口では、薄い表示票を袋体に入れるのが困難となる場合があるので、一方の側边上部 7 において表面フィルム 1 と裏面フィルム 2 とを付着させず、図 1 に示すように側边上部 7 が袋体の上辺と連続して開口可能となるようにし、表示票の出し入れを容易にするのが好ましい。

【0017】

係留部 6 の形状は、特に制約はなく任意にすることができ、例えば、図に示した矩形の突片のほか、三角形、半円状の突片などにしてもよい。図に示した孔あきの構造は、該孔部分において面ファスナーが係合できるので、面ファスナー 3 と重なって係合に関与できない面ファスナー 3 の割合を減ずることになり、梱包ベルトの面ファスナーとの係止低下を防ぐことができる。

係留部 6 の大きさおよび個数は、袋体の大きさに応じて設計することができる。

また、上記のように、係留部 6 は不要な開口を防ぐためのものであるので、開口した側边上部 7 を設ける場合には、係留部の位置は該側边上部 7 に近い位置とするのが好ましい。

【0018】

本発明の表示具を固・脱着する相手である梱包用ベルトには、本発明の表示具の表面フィルムに付設される面ファスナー 3 と対をなす、すなわち、面ファスナー 3 と係合可能な面ファスナーであって、面ファスナー 3 と同一サイズまたはそれ以上のサイズの面ファスナーを付設する。上記のように、梱包用ベルトに付設する面ファスナーとしては、ループ面ファスナーが好ましい。

【0019】

本発明の表示具は、その表面フィルムに付設された面ファスナー 3 と梱包用ベルトに付設された面ファスナーとが係合することにより、梱包用ベルトに固着される。

表示具内の表示票は透明な表面フィルム 1 を通して目視できる。また、裏面フィルム 2 の係留部 6 によって、表示具が風などによりひらひら動いても、袋体が開口することなく、表示票が表示具から流出することがない。

また、必要な場合は、表示具の上端を持って面ファスナーの係合をはがせば、表示具を梱包用ベルトから容易に脱着させることができる。

【産業上の利用可能性】

【0020】

本発明による表示具は、梱包ベルトに容易に固・脱着でき、必要に応じて表示票の交換を容易に行うことができるので、着脱や表示票の交換の頻繁な梱包体への使用に特に適している。

【図面の簡単な説明】

【0021】

【図 1】本発明による表示具の 1 例を示す斜視図。

10

20

30

40

50

【図 2】図 1 に示す表示具の展開平面図。

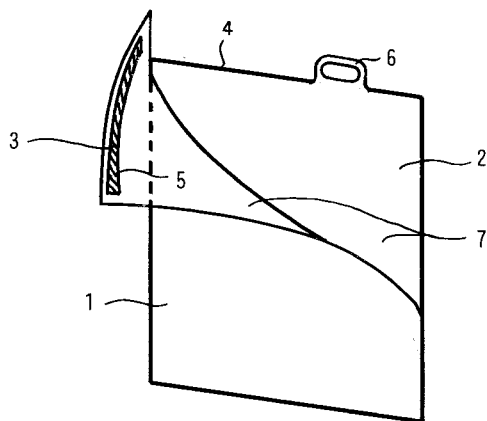
【符号の説明】

【 0 0 2 2 】

- 1：表面フィルム
- 2：裏面フィルム
- 3：面ファスナー
- 4：裏面フィルムの上端
- 5：面ファスナーの下端
- 6：係留部
- 7：側边上部開放部

10

【図 1】



【図 2】

